



研修農場新聞

(公財)農林水産振興財団
八王子研修農場
(発行責任者)
農場長 小寺孝治
(無料)

第1期生就農まであと半年、2期生は秋作に奮闘中！ 初の経営計画支援会議



経営計画書の作成では全体的な講義のほか、自主的な調査と個別指導等により研修を繰り返し、完成度を高めてきた。

第1期生は9月1日に農地の貸借等の手続きを進めるうえで一つの登壇となる経営計画支援会議(東京都担い手育成総合支援協議会主催)に挑んだ。
この支援会議は自ら作成した経営計画書(就農1年目から5年後の計画)を説明し、専門的な委員から様々な助言をいただくもの。
作成段階では、栽培品目や作型によって労働時間や資機材の経費、収穫量、販売金額等の参考データも少なく、他県の経営指標等を参考に各自の作付計画に合わせた所得算出等に半年近くの間を費やした。

さあ、実り多き秋に！

東京農業の担い手となる研修生達は、今、栽培実習や農家派遣研修などを通じて、秋冬野菜を中心とした生産管理、販売、経営ノウハウ等を学んでいる。

夏野菜の収穫・管理・出荷が終わる(同時に、秋野菜に向けた土づくり、育苗、

支援会議を受けた後の感想では「様々な角度からのご指摘をいただき、より精度の高い計画書ができた」「質疑応答のやり取りを聞いている中で、自分の計画を見直すことができた」「終わってホッとした」などの声が上がった。
今後、就農予定地の自治体などとの調整に入るが、1期生は就農まであと半年、就農後を見据え、生産管理技術・知識の習得を重ねるとともに、経営理念や中長期目標等をより明確にできるような支援していきたい。

いま第2期生達は

定植、肥培管理等に励んでいる。栽培品目はニンジン、ダイコン、キャベツ、ブロッコリー、秋ジャガ、リーフレタスなど10品目以上。全て播種から収穫、荷造りまでの基本技術を学ぶので、それぞれの特性をよく知り、将来に生かしてほしい。
また、9月からは精鋭農家さんへの派遣研修も始まり、様々な農家さんの経営スタイルを学ぶ。

研修生からは「実際の農家さんの栽培方法や荷造り方法」「個々の経営方針、立地等による生産・販売戦略の違い」「地域農家との関係作りや販売先との関係作り、品目選定の工夫等」「良い意味で手の抜き所や効率化」等を学べる絶好の機会と胸を膨らませている。

養液栽培トマトも始動

新規就農者の多くは露地栽培が中心となるため、研修農場でも露地栽培を基本とした作付けを学んでいる。しかし、将来的には施設化、機械化、スマート化を志向する方も多い。そこで、将来に向けて研修農場でも東京エコポニックスを導入し大玉、中玉、ミニ、房どりトマト等を試作している。

第3期生募集の概要

- 申請受付期間：令和3年10月1日(金)から11月10日(水)まで
- 募集定員：5名程度
- 研修費用：年間110,800円(予定)。オンライン申請も可。なお、10月には現地説明会を3回実施します。詳しくはホームページをご覧ください。

今後の予定など

- 10月以降は、生産管理のほか、農場へのフェンスと貯水槽の設置。関係自治

7~9月の主な出来事・作業等

- (7月)
 - 1日 農業会議打合、7日 農機資材展、8日 都庁食堂出荷
 - 16日 農作業安全講習日、19日 自動販売機導入
 - 21日 八丈支庁来場、伊勢丹出店、27日 農家視察 (小平)
 - 2日~30日まで11回 フードバンク八王子提供
- (8月)
 - 3日 農業次世代人材投資事業(支援会議)、進行管理
 - 10日~16日 夏休み、17日 稲城市農業委員会
 - 18日 食ベチョコク講義、20日 JAみなみ視察
- (9月)
 - 4日~27日まで7回 フードバンク八王子提供
 - 1日 新規就農希望者経営支援会議、第3期生募集プレス
 - 15日 東京インフォメーション撮影、消防点検
 - 25日 次期生 Web説明会、28日~2日 アグリパーク出店
 - 1日~29日まで9回 フードバンク八王子提供

これまでの天候

7月上旬は雨が続き、中旬以降から8月中頃まで晴れの日が多かった。しかし、8月中下旬以降は雨の日が多く、下旬後半に一時高気圧に覆われた。9月も雨や曇りがちの日が多く、日照時間も平年の7割程度であった。このため、3か月の平均気温も平年差マイナス0.5℃と低くなった。

各種SNS情報

研修農場では、少しずつですが、最新の研修状況等をツイッターやフェイスブック、インスタグラム、ユーチューブで発信しています。ご利用のSNSで、ぜひ東京農業アカデミー八王子研修農場と検索してみてください！

立。東京の農林水産業を応援してくれる**会員を募集**中。入会金・年会費は無料。会員限定プレゼント等の企画有り。詳細は財団HPまで。

八王子研修農場ホームページ